

前回の議論について

2021年11月26日
大阪府環境農林水産部みどり推進室

第2回生物多様性地域戦略部会における審議事項

第2回部会審議事項

大阪府生物多様性地域戦略の目標（案）及び生物多様性保全施策の基本方針

○「大阪21世紀の新環境総合計画」（2011年度～2020年度）に基づくこれまでの取組における課題を踏まえた目標（案）及び生物多様性保全施策の基本方針を提示



第2回生物多様性地域戦略部会における委員の主な意見

【これまでの取組における課題や評価について】

- 海域についても何らかの評価方法を考えていただきたい。
- 一次産業の減退・衰退というのは非常に生物多様性の負荷となり、減退につながっていると思うので、取組における主な課題に、その辺りは書いておく必要があるのではないか。
- 前回の工程表の評価が十分にできているのか。ここまでやってきたことの評価の上で、目的をきちんと組み立てなければいけないので、これまでやってきたことの評価が非常に重要な課題なのではないか。

【戦略の全体的な取りまとめの在り方について】

- 生き物一種一種の姿や個性が、府としてどうなのか伝わりにくい部分があるので、こういう場所ではこういう生き物がいてこういう関わりがあるという、たくさんの事例が湧き出てくるような方針の書き方や方向性というのと一緒に模索していきたい。

【取組方針について】

- きれいにまとまりすぎて、大阪の脆弱な自然を生かすという観点が少し欠けている。
- 取組方針の連関性の矢印が1から2だけでなく、2の中の非常に重要な課題をクリアしたら、また1に戻るという矢印も要るのかなというふうに感じた。
- 取組方針3の中に、モニタリングだけでなく政策評価を入れていかないといけないのではないか。
推進体制も書いていくことであり、今後目標値やKPI等も出てくると思うが、順応的管理をするためにも、政策評価と見直しをしていくということをちゃんと方針の中に盛り込んだ方が良いのではないか。

第2回生物多様性地域戦略部会における委員の主な意見

【取組項目について】

- みどりの食料システム戦略を事務局で参考にしていただいたらいいのではないか。
- ボランティアについて、今後の参加を増やすためには、呼びかけだけではもう無理ではないか。
違う方向を考えた方が良いと思う。
- レッドデータブックについて、いつ頃を目途に改訂するか、目標年度みたいなものを決めておいた方が良いのではないか。
- 都会では野良猫というのは最強生物で、鳥の繁殖にも影響を及ぼしてくるので、動物愛護的にも屋内飼いの呼びかけをもっとしていかないといけないのではないか。
生物多様性保全のための1つの項目として挙げていただければと思う。
- 保全地域の質の向上の観点から、3-2のタイトルを戻して、従来の保全地域の質の向上もその中に加えるのがいいのではないか。
- 農林水産業を支える人材に対する取組だけでなく、農林水産業そのものを、例えば都市住民と交流したりして支えていったりするような仕組み自体を考えていくということを書いておかないといけないのではないか。
- 目標（案）の「企業等と連携した保全活動の推進」について、「事業活動に関する生物多様性への配慮行動」といった項目を独立させて取組方針2の取組項目に書いていく必要があると思う。
- 高等学校も含めた学校教育との連携が非常に重要。
- 大人よりも知識を持ち、関心がある子供たちに、どうやって環境教育し、大阪の生物多様性保全に結びつけていくかというところを、もう少し取り上げてもいいのではないか。主体的に動く次の世代を、どうやって取り込んでいくのかということが見せられれば、大阪の特性がもう少し示せるのではないか。

第2回生物多様性地域戦略部会における委員の主な意見

【取組項目について（続き）】

- 産官学連携の視点が重要。首都圏にはない、民間ネットワークが大阪のポテンシャル。
大阪の特性であり、他の自治体と差別化を図れる。公の力が及ばないところに民間が関わっていることが重要。
- 市町村が戦略をつくっていくということは、それぞれ個性を持った地域の中で、生物多様性に関連する課題や
どんな生き物がどういうところにいるか、人の暮らしはどう関わっているかを広く理解するきっかけでもあると思うので、
そういった部分をしっかりと位置づけていただくといいのではないか。
- 市町村の地域戦略を策定する中で挙がってくる身近にある寺社や水路などを、府として包括的に捉えて、
府の個性、大阪らしさをもっと出していけると良いのではないか。

【成果指標について】

- 一体どの取組が本当に重要で、どれをKPIの重要な要素にするか。
府におけるマテリアリティはどれかというところを、もう少し絞り込んだ過程を示した方が、
例えば将来マスコミにプレスリリースし、掲載されるという時に項目がもう少し見えてくるかと思う。

【今後の議論について】

- 海や川といった水域の議論がなかなかできていないので、次回は海や川、ため池等にも少し視点を
当てていただきたい。